

第三次行財政改革大綱(新)				第二次行財政改革大綱(旧)				
基本方針：市民と共に、次世代に誇れるまちを目指して				基本方針：市民と市が一緒につくるまちを目指して『一步前へ』				
改革が目指すもの	改革の柱	改革の方策	記載の理由	改革が目指すもの	戦略	重点項目	第三次大綱案で包括的に記載している箇所	文言変更の理由 第二次大綱・アクションプランでの達成状況
効率的で健全な行政運営	効率的な行政運営	① 市民サービスの充実	普遍的なもの。 ・仕組みづくり：総合窓口化等市民の利便性向上 ・行政評価の充実等：市民アンケート不満5位、活用法の検討等	行政運営力の向上 — 行政運営の改革	行政戦略【効率的・効果的な事業運営と市民サービスの向上】	① トップマネジメント機能の強化	「効率的な行政運営③経営力・組織力の強化」の項目	第二次大綱で達成、経営力・組織力の強化に包括的に記載。 (政策会議・次長会の開催)
		② 人材の育成と活躍促進	普遍的なもの。 ・市民アンケート「市職員の意識改革、能力開発が充実している」重要1位 不満1位。 ・職員の意識改革とスキルアップの推進 ・人事評価の充実：継続推進			② 部の機能、役割の強化	「効率的な行政運営③経営力・組織力の強化」の項目	経営力・組織力の強化に包括的に記載。
		③ 経営力・組織力の強化	普遍的なもの。 ・業務の改善と集約：二次大綱未達成項目多⇒継続推進 ・事務の効率化：二次大綱未達成項目多⇒継続推進 ・組織機能の改善等：継続推進			③ 行政評価システムの定着	「効率的な行政運営①市民サービスの充実」の項目 「市民参画の推進①行政情報の発信や提供」の項目	第二次大綱で達成、引き続き行政評価システムの実施について取り組む。 (行政評価制度、外部評価、指定管理者モニタリング)
		④ 民間活力の活用	普遍的なもの。市民アンケート満足5位 ・民間委託、民営化、指定管理者、官民連携PPP、PFIも含めての記載とする。 ・官民連携強化：総務省助言通知 ・アウトソーシングの推進：二次大綱未達成項目多(基本方針策定等)⇒継続推進、総務省助言通知			④ 事務改善の実施	「効率的な行政運営③経営力・組織力の強化」の項目	経営力・組織力の強化に包括的に記載。
						⑤ 事務事業の見直し	「効率的な行政運営③経営力・組織力の強化」の項目 「健全な財政運営②経費の削減」の項目	経営力・組織力の強化に包括的に記載、経費の削減(事業の見直し)に包括的に記載
						⑥ アウトソーシングの積極的な活用	「効率的な行政運営④民間活力の活用」の項目	民間活力の活用包括的に記載。
						⑦ 定員管理の適正化	「効率的な行政運営③経営力・組織力の強化」の項目	第二次大綱期間中に定数管理計画を達成、経営力・組織力の強化に包括的に記載。
						⑧ 窓口サービスの充実	「効率的な行政運営①市民サービスの充実」の項目	窓口のみならず、市民サービスの充実に包括的に記載。
	健全な財政運営	① 歳入の確保	普遍的なもの。 ・適正課税・早期納税の推進 ・市税収入の確保 ・債権管理の徹底 ・受益者負担の適正化：合併検証でみえた課題(負担増⇒不満) ・新たな財源の獲得 ・有効な財源の活用	財政戦略【歳入・歳出の見直しによる財政の健全化】		① 基金の増額	「健全な財政運営①歳入の確保」の項目	歳入の確保に包括的に記載。「基金の増額」については、基金を積める財政状況ではない(財政計画に記載)。
		② 経費の削減	普遍的なもの。 ・事業の見直し：継続推進 ・経常経費の削減 ・補助金・負担金の適正化 ・市債の抑制 「歳出」ではなく「経費」である理由：「市債」は歳入でもあり歳出でもある。利息は経費にあたる。 経常経費は削減するが、政策的経費は、メリハリをつけるため、一律に歳出の削減を行うことではない。			② 市債の抑制	「健全な財政運営②経費の削減」の項目	第二次大綱で達成、経費の削減に包括的に記載。 (市債借入制限の設定、公債費の縮減)
		③ 公共施設マネジメントの推進	新規：・H28年度公共施設等総合管理計画を策定し、その推進を打ち出すため。 ・公共施設の縮減又は長寿命化：合併検証でみえた課題(更新費用増) ・公共施設の効率的な管理運営：市民アンケート 重要4位 不満3位>満足4位。 ・ファシリティマネジメントの推進：新たな課題(2次大綱に記載なし)、総務省助言通知 ・市有財産の有効活用等			③ 自主財源の確保	「健全な財政運営①歳入の確保」の項目	歳入の確保に包括的に記載。
						④ 市有財産の有効活用	「健全な財政運営③公共施設マネジメントの推進」の項目	第二次大綱期間中「公共施設等総合管理計画」策定、引き続き公共施設マネジメントの推進に包括的に記載し、推進する。
						⑤ 新たな収入の検討	「健全な財政運営①歳入の確保」の項目	歳入の確保に包括的に記載。
						⑥ 歳出の見直し	「健全な財政運営②経費の削減」の項目	経費の削減に包括的に記載。一律の歳出削減ではなく、経常経費は削減、政策的経費については、メリハリをつける、そのほか「市債の抑制」も含んでおり、その利息という経費を削減という意味も含めるため「歳出の見直し」から「経費の削減」という表現とした。

第三次行財政改革大綱（新）				第二次行財政改革大綱（旧）				
基本方針：市民と共に、次世代に誇れるまちを目指して				基本方針：市民と市が一緒に作るまちを目指して『一歩前へ』				
改革が目指すもの	改革の柱	改革の方策	記載の理由	改革が目指すもの	戦略	重点項目	第三次大綱案で包括的に記載している箇所	文言変更の理由 第二次大綱・アクションプランでの達成状況
効率的で健全な行財政運営				組織力の向上 ー組織人財の改革ー	組織戦略【市民に分かりやすく、かつ成果を上げる組織】	①簡素で効率的な行政組織の確立	「効率的な行政運営③経営力・組織力の強化」の項目	経営力・組織力の強化に包括的に記載。
						②市長部局と教育委員会との役割分担の見直し	「効率的な行政運営③経営力・組織力の強化」の項目	第二次大綱で達成、または方針が決定済み。（文化部門、スポーツ部門の市長部局移管、図書館・博物館は教育委員会）
						③支所の見直し	「効率的な行政運営③経営力・組織力の強化」の項目	経営力・組織力の強化に包括的に記載、第二次大綱期間中に支所のあり方について検討がなされた。
						①職場環境の整備	「効率的な行政運営②人材の育成と活躍促進」の項目	第二次大綱で達成（朝礼の励行、職場内コミュニケーションの推進等） 人材の育成と活躍促進に包括的に記載。
						②職員研修の充実	「効率的な行政運営②人材の育成と活躍促進」の項目	第二次大綱で達成（職階別研修の充実、派遣研修等） 人材の育成と活躍促進に包括的に記載。
						③人事制度の整備	「効率的な行政運営②人材の育成と活躍促進」の項目	人材の育成と活躍促進に包括的に記載。
	新規：情報化の推進	① 情報通信技術を活用した市民サービスの向上	新規：・総務省助言通知 電子自治体の推進【マイナンバーカードの利活用】： 電子申請等					
		② 情報通信技術を活用した事務の効率化	・総務省助言通知 事務効率化、経費節減。 ・合わせて、マイナンバー制度等を活用し事務の効率化を目指す。					
		③ セキュリティ対策の強化	・①②を推進する上で、ICTを活用する上で情報セキュリティ対策は避けて通ることのできないものである。 ・セキュリティポリシーの徹底、情報の適正管理					
市民協働の推進	市民参画の推進	① 行政情報の発信や提供	・情報公開のみならず、広報についても取組むため。 ・行政情報の発信と共有：市民アンケート満足1位 ホームページ等の利活用 ・情報公開制度の周知	地域力の向上 ー市民協働の推進ー	協働戦略【情報の共有と市民協働の推進】	①情報公開の推進	「市民参画の推進①行政情報の発信や提供」の項目	行政情報の発信や提供に包括的に記載。
		② 広聴機会の多様化	新規：・市民参画の推進の中で、市民から意見を聞く機会の重要性を鑑み、広報に対して広聴の機会を重視する。市民アンケート 重要3位 不満2位 > 満足5位			②市から地域への権限と財源の移譲	「住民自治の推進①コミュニティ活動の活性化」の項目	コミュニティ活動の活性化に包括的に記載。
	住民自治の推進	① コミュニティ活動の活性化	「市民と協働によるまちづくりが推進されている」・・・市民アンケート 重要2位 ・地域協議会の運営強化：市民アンケート不満4位、重要2位、合併検証でみえた課題（地域の活気・にぎわい低下）			③NPO等の支援	「住民自治の推進②市民活動の推進体制整備及び環境づくり」の項目	市民活動の推進体制整備及び環境づくりに包括的に記載。
		② 市民活動の推進体制整備及び環境づくり	・NPO法人のみならず、ボランティア団体、女性活躍機会創出も考慮。					

※市民アンケート：第2次八代市総合計画策定に係る市民アンケートH28.9月実施